



# 米中対立と沖縄

—台湾問題への提言

(下)

岡田 充

まるで坂を駆け落ちるよに変更した。さらに米海兵隊が自衛隊とともに南西諸島に「戦争シナリオ」が来上がろうとしている。日米両政府は「台湾有事」が近いとして、昨年4月には日米安保の性格を「地域の安定装置」から「対中同盟」

に変更した。さらに米海兵隊が自衛隊とともに南西諸島に「戦争シナリオ」が来上がろうとしている。日米両政府は「台湾有事」が近いとして、昨年4月には日米安保の性格を「地域の安定装置」から「対中同盟」



おかだ・たかし 共同通信社客員論説委員。共同通信香港、モスクワ、台北支局長。東アジアの外交・安全保障を中心に執筆。著書に「米中新冷戦の落とし穴」「中国と台湾 対立と共存の両岸関係」「尖閣諸島問題 領土ナシシナリオの魔力」。

の反対や議論もないまま、憲法に抵触しかねない戦争シナリオが独り歩きする現状は、戦争に近づく危うさに満ちている。

## 南西諸島に拠点

日米両国は今年1月7日

の初動段階における「日米共同作戦計画」である。共同発表は「同盟の役割・任務・能力の進化及び緊急事態に関する共同計画作業についての確固とした進展を歓迎」と書いており、日米

の初動段階における「日米共同作戦計画」である。共同発表は「同盟の役割・任務・能力の進化及び緊急事態に関する共同計画作業についての確固とした進展を歓迎」と書いており、日米

# 加速する戦争シナリオ

## 放置せず、地域安定追求を

の外務・防衛担当閣僚協議「2プラス2」に続いて、21日に日米首脳会談を開いた。テーマの大半が対中政策。首脳会談で岸田氏は、年末までに国家安全保障戦略を策定し、「防衛力を格段に強化」する方針を表明。双方は日米「2+2」の共同発表を支持し、中国をにらんだ日米同盟の抑止力強化で一致した。

の専門家は、共同計画作業の具体案が共同作戦計画とみる。

の初動段階で、米海兵隊は自衛隊の支援を受けながら鹿児島から沖縄県の南西諸島に、臨時の攻撃用軍事拠点を置く。米側の狙いについては、今回の提言の共同執筆者でもある国際政治学者のマイク・モッチキ米ジョージ・ワシントン大学准教授の話が参考になる。

安倍晋三元首相は「台湾有事は日本有事」と、有事をあり続けてきた。ポイントは台湾有事が切迫しているかどうかだろう。中国は台湾統一を歴史的任務としていますが、統一は急いでいない。少子高齢化の加速で成長に陰りが見える今、プライオリティは「体制維持」にあり、台湾武力行使はそれを危険にさらす。

一方、日米政府が有事をああする狙いは①台湾問題で「脇役」だった日本を米軍と一体化させ「主役」にする②南西諸島のミサイル要塞化を加速し、米軍の中距離ミサイル配備の地ならし③中国側を挑発し、中国が容認できない一線を意味する「レッドライン」を引き出すことにある。

計画策定のスタートは、52年ぶりに文書に盛り込んだ昨年3月の日米「2プラス2」と、菅義偉前首相とバイデン大統領による4月の首脳会談にさかのぼる。岸信夫防衛相はオースティン米国防相に対し「有罪で日米の緊密連携」を確認し、「台湾支援の米軍に

の初動段階で、米海兵隊は自衛隊の支援を受けながら鹿児島から沖縄県の南西諸島に、臨時の攻撃用軍事拠点を置く。米側の狙いについては、今回の提言の共同執筆者でもある国際政治学者のマイク・モッチキ米ジョージ・ワシントン大学准教授の話が参考になる。

の初動段階で、米海兵隊は自衛隊の支援を受けながら鹿児島から沖縄県の南西諸島に、臨時の攻撃用軍事拠点を置く。米側の狙いについては、今回の提言の共同執筆者でもある国際政治学者のマイク・モッチキ米ジョージ・ワシントン大学准教授の話が参考になる。

安倍晋三元首相は「台湾有事は日本有事」と、有事をあり続けてきた。ポイントは台湾有事が切迫しているかどうかだろう。中国は台湾統一を歴史的任務としていますが、統一は急いでいない。少子高齢化の加速で成長に陰りが見える今、プライオリティは「体制維持」にあり、台湾武力行使はそれを危険にさらす。

一方、日米政府が有事をああする狙いは①台湾問題で「脇役」だった日本を米軍と一体化させ「主役」にする②南西諸島のミサイル要塞化を加速し、米軍の中距離ミサイル配備の地ならし③中国側を挑発し、中国が容認できない一線を意味する「レッドライン」を引き出すことにある。

の初動段階で、米海兵隊は自衛隊の支援を受けながら鹿児島から沖縄県の南西諸島に、臨時の攻撃用軍事拠点を置く。米側の狙いについては、今回の提言の共同執筆者でもある国際政治学者のマイク・モッチキ米ジョージ・ワシントン大学准教授の話が参考になる。

の初動段階で、米海兵隊は自衛隊の支援を受けながら鹿児島から沖縄県の南西諸島に、臨時の攻撃用軍事拠点を置く。米側の狙いについては、今回の提言の共同執筆者でもある国際政治学者のマイク・モッチキ米ジョージ・ワシントン大学准教授の話が参考になる。

の初動段階で、米海兵隊は自衛隊の支援を受けながら鹿児島から沖縄県の南西諸島に、臨時の攻撃用軍事拠点を置く。米側の狙いについては、今回の提言の共同執筆者でもある国際政治学者のマイク・モッチキ米ジョージ・ワシントン大学准教授の話が参考になる。

安倍晋三元首相は「台湾有事は日本有事」と、有事をあり続けてきた。ポイントは台湾有事が切迫しているかどうかだろう。中国は台湾統一を歴史的任務としていますが、統一は急いでいない。少子高齢化の加速で成長に陰りが見える今、プライオリティは「体制維持」にあり、台湾武力行使はそれを危険にさらす。

一方、日米政府が有事をああする狙いは①台湾問題で「脇役」だった日本を米軍と一体化させ「主役」にする②南西諸島のミサイル要塞化を加速し、米軍の中距離ミサイル配備の地ならし③中国側を挑発し、中国が容認できない一線を意味する「レッドライン」を引き出すことにある。

の初動段階で、米海兵隊は自衛隊の支援を受けながら鹿児島から沖縄県の南西諸島に、臨時の攻撃用軍事拠点を置く。米側の狙いについては、今回の提言の共同執筆者でもある国際政治学者のマイク・モッチキ米ジョージ・ワシントン大学准教授の話が参考になる。

の初動段階で、米海兵隊は自衛隊の支援を受けながら鹿児島から沖縄県の南西諸島に、臨時の攻撃用軍事拠点を置く。米側の狙いについては、今回の提言の共同執筆者でもある国際政治学者のマイク・モッチキ米ジョージ・ワシントン大学准教授の話が参考になる。

の初動段階で、米海兵隊は自衛隊の支援を受けながら鹿児島から沖縄県の南西諸島に、臨時の攻撃用軍事拠点を置く。米側の狙いについては、今回の提言の共同執筆者でもある国際政治学者のマイク・モッチキ米ジョージ・ワシントン大学准教授の話が参考になる。

安倍晋三元首相は「台湾有事は日本有事」と、有事をあり続けてきた。ポイントは台湾有事が切迫しているかどうかだろう。中国は台湾統一を歴史的任務としていますが、統一は急いでいない。少子高齢化の加速で成長に陰りが見える今、プライオリティは「体制維持」にあり、台湾武力行使はそれを危険にさらす。

一方、日米政府が有事をああする狙いは①台湾問題で「脇役」だった日本を米軍と一体化させ「主役」にする②南西諸島のミサイル要塞化を加速し、米軍の中距離ミサイル配備の地ならし③中国側を挑発し、中国が容認できない一線を意味する「レッドライン」を引き出すことにある。

の初動段階で、米海兵隊は自衛隊の支援を受けながら鹿児島から沖縄県の南西諸島に、臨時の攻撃用軍事拠点を置く。米側の狙いについては、今回の提言の共同執筆者でもある国際政治学者のマイク・モッチキ米ジョージ・ワシントン大学准教授の話が参考になる。

の初動段階で、米海兵隊は自衛隊の支援を受けながら鹿児島から沖縄県の南西諸島に、臨時の攻撃用軍事拠点を置く。米側の狙いについては、今回の提言の共同執筆者でもある国際政治学者のマイク・モッチキ米ジョージ・ワシントン大学准教授の話が参考になる。

の初動段階で、米海兵隊は自衛隊の支援を受けながら鹿児島から沖縄県の南西諸島に、臨時の攻撃用軍事拠点を置く。米側の狙いについては、今回の提言の共同執筆者でもある国際政治学者のマイク・モッチキ米ジョージ・ワシントン大学准教授の話が参考になる。

安倍晋三元首相は「台湾有事は日本有事」と、有事をあり続けてきた。ポイントは台湾有事が切迫しているかどうかだろう。中国は台湾統一を歴史的任務としていますが、統一は急いでいない。少子高齢化の加速で成長に陰りが見える今、プライオリティは「体制維持」にあり、台湾武力行使はそれを危険にさらす。

一方、日米政府が有事をああする狙いは①台湾問題で「脇役」だった日本を米軍と一体化させ「主役」にする②南西諸島のミサイル要塞化を加速し、米軍の中距離ミサイル配備の地ならし③中国側を挑発し、中国が容認できない一線を意味する「レッドライン」を引き出すことにある。

の初動段階で、米海兵隊は自衛隊の支援を受けながら鹿児島から沖縄県の南西諸島に、臨時の攻撃用軍事拠点を置く。米側の狙いについては、今回の提言の共同執筆者でもある国際政治学者のマイク・モッチキ米ジョージ・ワシントン大学准教授の話が参考になる。

の初動段階で、米海兵隊は自衛隊の支援を受けながら鹿児島から沖縄県の南西諸島に、臨時の攻撃用軍事拠点を置く。米側の狙いについては、今回の提言の共同執筆者でもある国際政治学者のマイク・モッチキ米ジョージ・ワシントン大学准教授の話が参考になる。

の初動段階で、米海兵隊は自衛隊の支援を受けながら鹿児島から沖縄県の南西諸島に、臨時の攻撃用軍事拠点を置く。米側の狙いについては、今回の提言の共同執筆者でもある国際政治学者のマイク・モッチキ米ジョージ・ワシントン大学准教授の話が参考になる。

安倍晋三元首相は「台湾有事は日本有事」と、有事をあり続けてきた。ポイントは台湾有事が切迫しているかどうかだろう。中国は台湾統一を歴史的任務としていますが、統一は急いでいない。少子高齢化の加速で成長に陰りが見える今、プライオリティは「体制維持」にあり、台湾武力行使はそれを危険にさらす。

一方、日米政府が有事をああする狙いは①台湾問題で「脇役」だった日本を米軍と一体化させ「主役」にする②南西諸島のミサイル要塞化を加速し、米軍の中距離ミサイル配備の地ならし③中国側を挑発し、中国が容認できない一線を意味する「レッドライン」を引き出すことにある。

の初動段階で、米海兵隊は自衛隊の支援を受けながら鹿児島から沖縄県の南西諸島に、臨時の攻撃用軍事拠点を置く。米側の狙いについては、今回の提言の共同執筆者でもある国際政治学者のマイク・モッチキ米ジョージ・ワシントン大学准教授の話が参考になる。

の初動段階で、米海兵隊は自衛隊の支援を受けながら鹿児島から沖縄県の南西諸島に、臨時の攻撃用軍事拠点を置く。米側の狙いについては、今回の提言の共同執筆者でもある国際政治学者のマイク・モッチキ米ジョージ・ワシントン大学准教授の話が参考になる。

の初動段階で、米海兵隊は自衛隊の支援を受けながら鹿児島から沖縄県の南西諸島に、臨時の攻撃用軍事拠点を置く。米側の狙いについては、今回の提言の共同執筆者でもある国際政治学者のマイク・モッチキ米ジョージ・ワシントン大学准教授の話が参考になる。

安倍晋三元首相は「台湾有事は日本有事」と、有事をあり続けてきた。ポイントは台湾有事が切迫しているかどうかだろう。中国は台湾統一を歴史的任務としていますが、統一は急いでいない。少子高齢化の加速で成長に陰りが見える今、プライオリティは「体制維持」にあり、台湾武力行使はそれを危険にさらす。

一方、日米政府が有事をああする狙いは①台湾問題で「脇役」だった日本を米軍と一体化させ「主役」にする②南西諸島のミサイル要塞化を加速し、米軍の中距離ミサイル配備の地ならし③中国側を挑発し、中国が容認できない一線を意味する「レッドライン」を引き出すことにある。